

フォレストニュース

植林が地球を救う
平成24年(2012) 2月10日
No. 50
発行 高津啓洋

洪水被害の調査報告

＜第一植樹園調査報告＞ (第一期、二期)

2012年2月飯野貞夫

第一植樹園は2011年の主に洪水(支流から沼に入った水が流れ込むことで、木々が数か月水に浸かっていた場所がある)被害が大きかった為、明らかに枯死したという形跡を見極める期間を持って、調査に入りました。12月上旬レダ入りした時点では、枯れているのか、単に季節的に落葉したのか不明確でした。

1月26日から調査を開始、雨季の時期を充分過ぎて一切芽も



葉も花も出なければ、枝を折って見て、その状況によって枯死を決定しました。

当初2週間位で全て完了したいと願いましたが、現実にはぬかった園内と、とげのある雑草や、つる草が膝から腰までくる中をかき分けて、蚊、あぶ、蜂、毒蛇等に気をつけながら、雨上がりで蒸し暑かったり、それでも選定やつる草取りをなし、炎暑に全身汗で脱水症状になり、吐き気と闘いながらの調査となりました。

実際蜂の巣は、園内でしばしば発見しますし、青木通泰駐在員は池の周りの草刈りをしていて、5匹位に刺されて、左まぶたが張れて眼を塞ぎ、3日間程休みました。館の花壇にも長さ40cm直径30cmほどの巨大な蜂の巣が発見され、びっしりと蜂が黒く群れていました。パンタナールは何処にでもいるとうことです。

何気なく当たり前に作業を日々



水に強いユーカリも被災

続けていますが、外作業は誰も同じ危険性の中を黙々と働いていますから、皆の無事を祈りながらも、常に守りの中にあると感謝しています。

雨季が終わって地面が乾く4月以降に、トラクターを入れて草刈をした後なら、とても調査をし易いのですが、木を愛している人々の気持ちを察して、とにかく少しでも早く取り組んでいけたらとの一念で調査しています。

森林の減少と温暖化 二酸化炭素の吸収源である森林が減少

森林減少の原因には、プランテーションの開発等農地への転用や、焼き畑農業の増加、燃料用木材の過剰な採取、森林火災、違法伐採等があります。

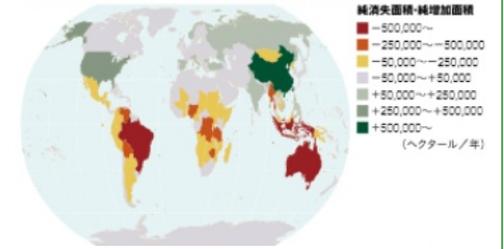
森林減少に伴う温室効果ガスの排出

森林減少等に伴う温室効果ガス排出量は、世界全体の排出量の約2割を占めています。森林伐採等は森林に貯えられている炭素を排出するとともに、吸収源を減らすこととなります。

森林面積の変化の大きな国

2005年から2010年の森林面積の変化をみると、特に熱帯地域で森林減少の進んでいることがわかります。(図右上) その中でも、国土面積当たりの森林伐採が世界で一番行われた国、パラグアイです。

◎各国の森林面積の純変化(2005~2010年)



開発途上国では生活のために使う燃料として薪炭材を使用しており、人口増加に伴う需要の増加や森林自体の減少により、薪炭材の採取量が森林の回復量を上回り、森林のさらなる減少・劣化の要因となっている。(写真はアフリカ)

森林減少・劣化に伴う排出の削減への取組

森林減少等に伴う温室効果ガスの排出量は、世界全体の排出量の約2割を占めるため、この減少等を防止することが、地球温暖化対策として極めて重要です。2005年に開催された第11回気候変動枠組条約締約国会議(COP11)で、パプアニューギニアとコスタリカが提案を行って以来、「途上国における森林減少・劣化に由来する排出の削減」のためにどのような仕組みを形成すべきかについての議論が進められています。(環境省から)

